



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社NSD

コード番号 9759 URL <http://www.nsd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今城 義和

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 社長室長 (氏名) 近藤 潔

TEL 03-3342-1250

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,771	0.8	1,357	△18.3	1,566	△12.5	708	△28.9
23年3月期第2四半期	16,644	△7.5	1,661	△19.5	1,790	△16.8	995	△19.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 462百万円 (△11.4%) 23年3月期第2四半期 521百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	16.43	16.42
23年3月期第2四半期	22.04	22.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,948	39,251	86.8
23年3月期	45,123	40,816	90.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 39,022百万円 23年3月期 40,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	28.00	28.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	8.0	3,700	3.3	3,900	3.0	2,200	5.7	51.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)特定子会社の異動には該当いたしません。が、株式会社テブスソリューションズ(株式会社NSDテブソルに商号変更)を子会社化し、第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。
詳細は、添付資料P. 4「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	51,172,160 株	23年3月期	51,172,160 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	8,168,301 株	23年3月期	7,168,365 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	43,099,800 株	23年3月期2Q	45,162,198 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式が含まれます。(24年3月期2Q 908,200株、23年3月期 1,158,300株)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

・四半期決算補足説明資料は、平成23年11月1日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、生産活動や輸出等には回復が見られたものの、電力供給不足に対する節電等の対応や歴史的な円高への対応、ギリシャに端を発した欧州債務危機問題と世界景気の減速等、依然として先行き不透明な状況にありました。

情報サービス産業では、企業のIT投資全般に依然として慎重姿勢が続き、厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは積極的な受注活動と新規事業の推進、プロジェクトマネジメントの徹底及びコストの削減等により、収益性の確保に努めてまいりました。

その結果、売上高につきましては、東日本大震災及び原子力発電所事故により被災しました連結子会社の減収はあったものの、全体としては若干の増収となりましたが、利益面につきましては、一部のプロジェクトで採算が悪化した影響及び転進支援による早期割増退職金の計上等により減益となりました。

当社グループの業績は、以下のとおりとなりました。

売上高	16,771百万円（前年同期比 0.8%増）
営業利益	1,357百万円（前年同期比18.3%減）
経常利益	1,566百万円（前年同期比12.5%減）
四半期純利益	708百万円（前年同期比28.9%減）

セグメントの業績は、以下のとおりとなりました。

①システムソリューションサービス事業

・情報サービス事業（ソフトウェア開発事業とコンピュータ室運営管理事業）につきましては、金融業のシステム統合案件が概ね順調に推移したこと等により、売上高は15,204百万円（前年同期比2.5%増）となりました。

・ソフトウェアプロダクト事業につきましては、取扱い製品の見直しによる影響により、売上高は547百万円（前年同期比30.9%減）となりました。

②人材派遣事業

・企業の雇用過剰感が続いていることにより人材派遣に対する需要は増加せず、売上高は798百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

③不動産賃貸事業

・元社員寮等の自社所有物件の戸数増と入居率向上により、売上高は221百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

[資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比175百万円減少し、44,948百万円となりました。

そのうち流動資産は245百万円増加の25,059百万円、固定資産は421百万円減少の19,889百万円となりました。

流動資産増加の主な要因は、受取手形及び売掛金が801百万円減少したものの、現金及び預金が663百万円、仕掛品が157百万円、流動資産その他が203百万円増加したこと等によるものです。

固定資産減少の主な要因は、無形固定資産が39百万円増加したものの、有形固定資産が66百万円、投資有価証券が477百万円減少したこと等によるものです。

[負債の状況]

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比1,389百万円増加し、5,696百万円となりました。

そのうち流動負債は1,537百万円増加の4,204百万円、固定負債は148百万円減少の1,492百万円となりました。

流動負債増加の主な要因は、買掛金が103百万円、1年内返済予定の長期借入金（従業員持株ESOP信託分）が166百万円、未払法人税等が364百万円、賞与引当金が609百万円、流動負債その他が193百万円増加したこと等によるものです。

固定負債減少の主な要因は、長期借入金（従業員持株ESOP信託分）が1年内返済予定の長期借入金への振り替えにより166百万円減少したこと等によるものです。

[純資産の状況]

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比1,564百万円減少し、39,251百万円となりました。

純資産減少の主な要因は、利益剰余金が四半期純利益により708百万円増加したものの、配当金支払いにより1,264百万円減少、その他有価証券評価差額金が上場株式の時価下落等により238百万円減少、また、自己株式取得等により763百万円減少したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は86.8%（前連結会計年度末は90.0%）となりました。

[連結キャッシュ・フローの状況]

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、16,116百万円となり、前連結会計年度末比863百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、2,689百万円となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益1,411百万円、売上債権の減少838百万円、賞与引当金の増加609百万円等による資金の増加と、法人税等の支払337百万円、その他流動資産の増加216百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、229百万円となりました。

これは主に、投資有価証券の売却による収入1,024百万円、定期預金の払戻による収入240百万円等による資金の増加と、投資有価証券の取得による支出993百万円等による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、2,028百万円となりました。

これは主に、従業員持株ESOP信託口が所有する自己株式の売却による収入217百万円による資金の増加と、配当金の支払1,264百万円、自己株式の取得による支出980百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、採算悪化案件については第2四半期で目処がたつこと、金融業の統合案件が増加する見込みであること等により、平成23年5月11日に発表しました業績見通しに変更はございません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

特定子会社の異動には該当いたしません。が、株式会社テプシスソリューションズを子会社化し、第1四半期連結累計期間より連結の範囲に含めております。

なお、同社は平成23年7月1日付で、商号を株式会社NSDテプソルに変更しております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用につきましては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、一部の子会社につきましては、前連結会計年度の実際実効税率を用いて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,527,980	17,191,431
受取手形及び売掛金	7,612,410	6,810,675
商品及び製品	24,911	44,129
仕掛品	—	157,846
原材料及び貯蔵品	4,455	6,059
その他	660,530	864,289
貸倒引当金	△17,031	△15,313
流動資産合計	24,813,257	25,059,118
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,083,336	4,005,917
土地	5,061,875	5,060,504
その他（純額）	307,645	319,972
有形固定資産合計	9,452,857	9,386,394
無形固定資産		
その他	193,430	232,864
無形固定資産合計	193,430	232,864
投資その他の資産		
投資有価証券	6,756,687	6,279,490
その他	3,915,916	3,999,168
貸倒引当金	△8,458	△8,553
投資その他の資産合計	10,664,145	10,270,104
固定資産合計	20,310,434	19,889,363
資産合計	45,123,691	44,948,482
負債の部		
流動負債		
買掛金	453,404	556,610
1年内返済予定の長期借入金	166,000	332,000
未払法人税等	302,269	666,780
賞与引当金	516,890	1,126,099
役員賞与引当金	44,300	28,340
株主優待引当金	40,874	79,559
受注損失引当金	51,872	129,721
その他	1,091,155	1,284,943
流動負債合計	2,666,766	4,204,053
固定負債		
長期借入金	834,000	668,000
退職給付引当金	744,068	762,301
その他	62,657	62,279
固定負債合計	1,640,726	1,492,580
負債合計	4,307,493	5,696,634

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,205,864	7,205,864
資本剰余金	6,892,184	6,892,184
利益剰余金	37,493,485	36,936,999
自己株式	△8,137,426	△8,900,723
株主資本合計	43,454,108	42,134,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△354,355	△592,629
土地再評価差額金	△2,329,768	△2,329,768
為替換算調整勘定	△168,886	△189,170
その他の包括利益累計額合計	△2,853,010	△3,111,568
新株予約権	—	525
少数株主持分	215,100	228,565
純資産合計	40,816,198	39,251,848
負債純資産合計	45,123,691	44,948,482

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	16,644,095	16,771,575
売上原価	13,560,481	13,989,859
売上総利益	3,083,614	2,781,716
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	491,979	552,845
賞与引当金繰入額	50,692	53,621
役員賞与引当金繰入額	31,200	28,340
福利厚生費	121,552	104,787
賃借料	227,435	161,978
減価償却費	30,875	27,546
研究開発費	12,484	120,865
株主優待引当金繰入額	38,420	39,876
その他	417,382	334,178
販売費及び一般管理費合計	1,422,021	1,424,038
営業利益	1,661,593	1,357,678
営業外収益		
受取利息	36,940	48,713
受取配当金	56,581	65,489
有価証券受贈益	42,018	—
助成金収入	—	86,639
その他	16,925	17,996
営業外収益合計	152,465	218,838
営業外費用		
支払利息	33	18
為替差損	10,630	7,076
租税公課	1,988	2,264
和解金	9,000	—
その他	1,953	358
営業外費用合計	23,607	9,718
経常利益	1,790,452	1,566,798
特別利益		
投資有価証券売却益	31,688	9,489
貸倒引当金戻入益	15,692	—
その他	1,036	709
特別利益合計	48,417	10,198
特別損失		
段階取得に係る差損	—	44,089
投資有価証券売却損	2,547	7,000
投資有価証券評価損	20,350	—
早期割増退職金等	—	110,699
減損損失	7,856	1,371
その他	352	2,505
特別損失合計	31,107	165,665
税金等調整前四半期純利益	1,807,762	1,411,331

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
法人税等	799,870	690,293
少数株主損益調整前四半期純利益	1,007,892	721,038
少数株主利益	12,688	12,985
四半期純利益	995,203	708,052

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,007,892	721,038
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△456,705	△238,273
為替換算調整勘定	△29,399	△20,284
その他の包括利益合計	△486,105	△258,557
四半期包括利益	521,786	462,480
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	509,097	449,495
少数株主に係る四半期包括利益	12,688	12,985

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,807,762	1,411,331
減価償却費	141,461	174,100
のれん償却額	22,023	5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△64,460	△1,942
賞与引当金の増減額(△は減少)	641,388	609,208
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,800	△15,960
受注損失引当金の増減額(△は減少)	19,353	77,848
株主優待引当金の増減額(△は減少)	37,132	38,685
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△64,345	18,232
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△3,444	—
段階取得に係る差損益(△は益)	—	44,089
受取利息及び受取配当金	△93,521	△114,202
支払利息	33	18
売上債権の増減額(△は増加)	△91,618	838,791
たな卸資産の増減額(△は増加)	68,326	△178,068
その他の流動資産の増減額(△は増加)	49,519	△216,953
その他投資等の増減額(△は増加)	53,321	2,150
仕入債務の増減額(△は減少)	△210,912	103,150
未払消費税等の増減額(△は減少)	△60,328	165,365
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△78,952	△60,569
その他	△26,424	24,036
小計	2,120,514	2,919,316
利息及び配当金の受取額	85,392	107,503
利息の支払額	△33	△18
法人税等の還付額	4,955	99
法人税等の支払額	△1,059,174	△337,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,151,654	2,689,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△60,000	△40,000
定期預金の払戻による収入	60,000	240,000
有形固定資産の取得による支出	△24,608	△64,629
有形固定資産の売却による収入	347	4,650
無形固定資産の取得による支出	△15,365	△61,738
投資有価証券の取得による支出	△1,079,768	△993,000
投資有価証券の売却による収入	66,567	1,024,876
敷金及び保証金の回収による収入	2,468	90,309
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	31,831
その他	△11,442	△2,721
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,061,801	229,579

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,264,546	△1,264,538
自己株式の取得による支出	△302	△980,968
自己株式の売却による収入	61	217,670
その他	△11,876	△798
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,276,663	△2,028,634
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39,599	△27,230
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,226,409	863,450
現金及び現金同等物の期首残高	19,011,395	15,253,019
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,784,986	16,116,469

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソ リューションサ ービス事業	人材派遣事 業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,626,044	828,592	189,458	16,644,095	—	16,644,095
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	156,775	12,466	169,241	△169,241	—
計	15,626,044	985,367	201,924	16,813,337	△169,241	16,644,095
セグメント利益	1,591,566	26,970	42,941	1,661,478	114	1,661,593

(注) 1. セグメント利益の調整額114千円には、セグメント間取引消去195千円、全社費用△80千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	システムソ リューションサ ービス事業	人材派遣事 業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,751,202	798,552	221,820	16,771,575	—	16,771,575
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	172,110	13,578	185,688	△185,688	—
計	15,751,202	970,662	235,399	16,957,264	△185,688	16,771,575
セグメント利益	1,269,332	17,820	70,405	1,357,558	119	1,357,678

(注) 1. セグメント利益の調整額119千円には、セグメント間取引消去195千円、全社費用△75千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象
該当事項はありません。